

# 長岡健康生きがい創生ネットワーク発足の新聞記事（新潟日報2016年11月11日）

2016年(平成28年)11月11日(金曜日)

(日刊)

新 潟 日 報

## 社会参加で健康寿命延ばす

### 医療、福祉関係者ら連携

#### 生きがいづくり 就労、起業相談も

長岡市の医療、福祉の関係者らが、健康で長生きできる社会の実現を目指し「長岡健康生きがい創生ネットワーク（長岡健生）」を発足させた。健康寿命を延ばすため、生きがいづくりや体を動かす機会を増やす。高齢者の社会参加を促すため、相談などに応じられる人材の養成も進める。

長岡健生には関係者10人「社協会の田宮崇理事長が就参加。会長には、長岡福一任した。高齢者の生きがい



長岡健康生きがい創生ネットワークが中高年の健康などをテーマに開いた勉強会＝長岡市青葉台4

づくりを支援する全国組織「健康・生きがい開発財団」（東京）の地域組織として活動する。県内では新潟市に次いで2つ目の組織となった。

高齢になると自宅からあまり外に出なくなり、体力の低下を招くケースが多いと指摘されている。社会参加の機会を増やすことで、健康寿命を延ばすことを目指す。

既に、一般向けに中高年の健康などをテーマにした勉強会を開催。今後も健康づくりのセミナーなどを開催するほか、サークルや就労などの情報を集めて高齢者に紹介する。

生きがいづくりや就労、起業などの相談にも応じていく。相談などに対応できる人材を増やすため、健康・生きがい開発財団が認定するアドバイザー資格の取得を支援する。19日からは東京のアドバイザーらを講師に、長岡市内で4回シリーズの養成講座も開く。

副会長の1人で看護師の江口郁子さん(72)は「行政や企業、地域団体と情報を

共有し、高齢者が、培った能力を生かして社会貢献できる仕組みづくりを進めた」と話した。

アドバイザーなどとして参加するメンバーも募集している。問い合わせは事務局の江口さん、0258(28)0573。